

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導 ※ JSL=Japanese as a second language	①確かな学力の定着および学習習慣の確立に向けた取組を行う。 ②自己肯定感とコミュニケーション力の向上を目指し、一層の授業改善をすすめる。 ③個々の能力・状況に応じた学習支援体制を整える。 ④日本語を母語としない(JSL※)生徒に対しても確かな学力の保証をはかる。	①生徒が「わかる」「学力がついた」と実感し、自ら学習に取り組めるよう工夫する。 ②授業改善をすすめる、他者の考えを取り入れたり、協働して問題解決に取り組めるようにする。	①振り返り学習を行い、基礎的・基本的な知識の定着を図る。理解や定着度に応じた教材や課題設定をし、生徒自らが意欲的に取り組む工夫をする。 ②授業展開の中で、他者と意見交換したりグループ活動を行うなどして、協働して問題解決に取り組む場面を増やす。	①生徒による授業評価の項目「授業の中で身に付いたことや、できるようになったことができた」において、評価4, 3の計が90%を越えるか。 ②生徒による授業評価の項目「他の人の考えを知ることにより、新たな気づきなど、自らの考えを広げ深めることができた」において、評価4, 3の計が80%を越えるか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①地域の中の学校として地域とともに規範意識の向上を図り、リーダーシップを育成する事でコミュニケーション能力の向上をめざす。 ②個別支援を積極的に推進し個々に応じた指導を行う。 ③中学校との連携や交流を生かし、部活動・学校行事の活性化を図る。 ④生徒の主体的な学校行事への取組を推進する。その活動を通して自己肯定感の醸成とコミュニケーション力の向上を図る。	①規範意識の醸成と問題行動の未然防止に努め、地域貢献できる人材を育成する。 ②不登校等学校生活に馴染めない生徒に対し外部機関との協力を通して個別支援を進めていく。 ③生徒会活動を活性化し、中高の交流を図り、その活動を通して、生徒の自己肯定感の醸成とコミュニケーション力の向上を図る。	①地域と積極的に関わり規範意識の向上を様々な場面で学べるような場を作り出していきたい ②学校生活に馴染めない生徒を早めに見つけ出し面談等関わる事を繰り返しおこなう事で出現率を押さえていきたい。 ③生徒会本部を中心とした、地域や中学校との交流活動を円滑に進める。校内においては、学校行事を生徒の主体性の重視した企画運営を行い自己肯定感の醸成を図る。	①できる限り多くの関わりを持つチャンスを作り出すことができたか。 ②全職員が理解した上で対応策を協議できたか ③地域や中学校との多くの交流活動ができたか。また、行事の企画運営に生徒が主体的な活動ができ、自己肯定感の醸成につながったか。					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①総合的な探究の時間の活用を含む地域と連携した取組を用いながら、生徒の3年間を見通した指導により、自分の価値観を見つめ、関心分野を広げ深めた上で、主体的に希望する進路指導を実現する。	①総合的な探究の時間の活用を中心としたキャリア教育の推進により将来を見据えた進路選択が可能となる進路指導體制を確立し、保護者を含めた生徒のための進路支援体制を構築する。	①総合的な探究の時間の活用を組織的に、かつ継続的なものとして構築する。探究活動や成果発表などの探究の手法を進路決定に活用する。また、保護者向け説明会など保護者の進路意識を高める働きかけを行い、生徒とともに進路活動を進める体制を構築する。	①生徒が自ら目標を設定し、挑戦できたか。 ・総合的な探究の時間を活用できたか。 ・生徒の進路希望の達成率87%以上の達成をしたか。 ・保護者向けの進路行事を構築できたか。				
4	地域等との協働	①学校運営協議会を中心に地域との協働を目指す。また、地域・学校協働本部との連携を円滑にし、学校外の学修を推進する。	①地域・学校協働本部(明日楓会)との連携を密にし、地域交流活動を活性化し、その活動を通して生徒の主体性の醸成を図る。	①地域・学校協働本部と連携し、学校と地域との交流に重点を置いた活動を展開し、生徒会や連携生を中心としたボランティア活動やインターンシップの推進を図る。	①生徒がボランティア活動やインターンシップに興味を持ったか。地域・学校協働本部と連携して生徒の支援を円滑にできたか。				
5	学校管理 学校運営	①「学び続ける教師、変化に対応できる教師」を目指し、事故のない安全安心な学校運営の推進をはかる。 ②地域との連携を深めながら、生徒にとって安全安心な学校環境を構築する。	①不祥事防止に向け未然防止に重点を置き意識啓発をし、安全安心な学校運営を行う。 ②地域との連携を深めながら、生徒・職員に対する現実に即した防災研修を充実させる。	①不祥事防止の定期的な啓発活動により、事故不祥事を他人事しない職員集団をつくる。 ②FGC員、地域連携サークルを中心に地域と連携した防火防災活動を行う。	①事故不祥事を他人事しない研修・啓発活動が実施できたか？ ②連携した防火防災活動が実施できたか。多くの生徒・職員が参加できたか。				